

## がん化学療法プロトコール

氏名: \_\_\_\_\_

ID: \_\_\_\_\_

体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kgプロトコール名 ***Bevacizumab+FOLFIRI***

対象疾患 切除不能な結腸・直腸がん

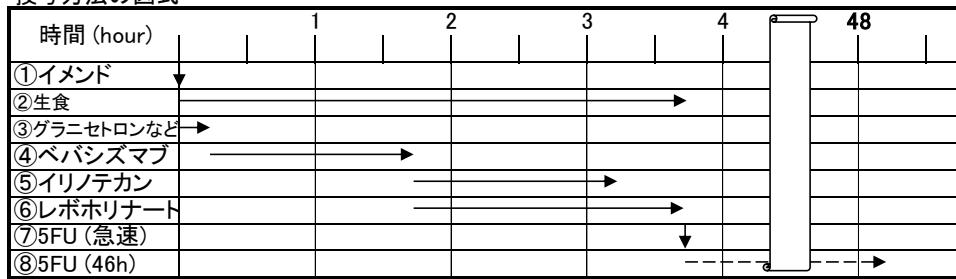
診療科 外科、消化器内科

施用者 \_\_\_\_\_

## 1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①イメント	1セット(3日分)			1日目をCPT11開始1時間以上前に服
②生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③デキサート	6.6mg/2mL (2A)			
④グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)		混注	15分で点滴静注
⑤ベバシズマブ	5mg/kg		生食100mL	レジメン文書特記事項参照
⑥イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>		5%糖250mL	1.5時間点滴静注
⑦レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>		5%糖250mL	2時間点滴静注
⑧5FU (急速)	400mg/m <sup>2</sup>		生食20mL	2分で急速静注
⑨5FU (46h)	2400mg/m <sup>2</sup>		生食	46時間持続静注

## 2 投与方法の図式



## 3 投与スケジュール

1クール14日間。

## 4 特記事項

- ・ ベバシズマブは初回90分で投与。忍容性が良好であれば60分、その次は30分まで短縮可能。
- ・ 携帯型ディスポーザブル注入ポンプの調製は換算表を用いて生食の充填量を計算する。